

教科に関する調査の結果

※平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

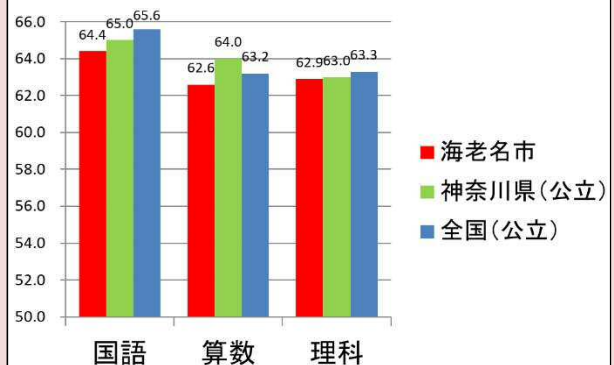
小学校

国語は、全国平均をやや下回っています

平均正答率(%)

	国語	算数	理科
海老名市	64.4	62.6	62.9
神奈川県(公立)	65.0	64.0	63.0
全国(公立)	65.6	63.2	63.3

平均正答率のグラフ(%)



★国語は全国を1ポイント以上下回っています。



中学校

各教科とも、全国と比べて上回っています

平均正答率(%)

	国語	数学	理科
海老名市	71.2	55.1	50.9
神奈川県(公立)	69.0	53.0	50.0
全国(公立)	69.0	51.4	49.3

平均正答率のグラフ(%)

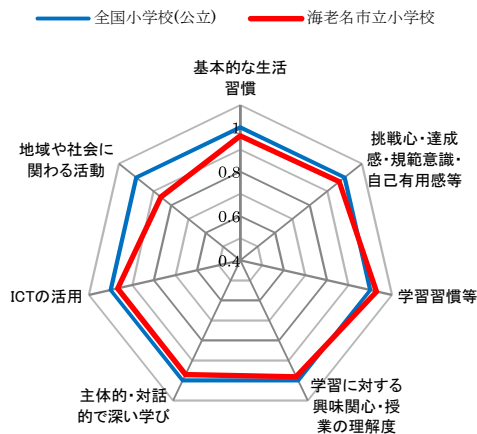


☆数学では全国を3ポイント以上上回っています。

児童生徒に対する質問紙調査の結果

小学校

学習習慣は良好です



児童質問紙より
(全国平均を「1」としたときの比較)

◇家庭学習等、授業時間以外の学習にも努めるとともに、普段からの読書の習慣も身につけています。

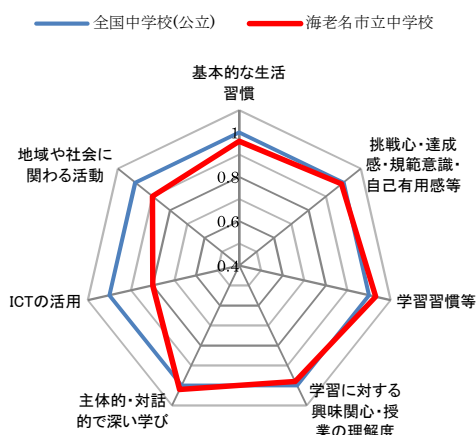
◆学校の授業では主体的・対話的に学んでいますが、その学びを次につなげたり、新しいものを作り出したりすることに課題があります。

◆地域・社会への関心や行事参加等について、学校と地域が相互に連携していくことに課題があります。



中学校

学習習慣が身についています



生徒質問紙より
(全国平均を「1」としたときの比較)

◇学校の授業以外でも学習する習慣が身につけています。

◇学校の授業では主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に取り組んでいます。

◆生徒の情報活用能力を育成するため、学習への効果的なICTの活用について、より進めていく必要があります。

◆小中一貫教育やコミュニティ・スクールなどの取組に関連させ、地域や社会の関心を高め、積極的に地域の行事等への参加をすすめていく必要があります。